

劇団員募集オーディション

コロナウイルスにも困ったものです。
一番困るのは、「人と交わるな」ということです。
交わらないでいると、人間でなくなるような気がしませんか。
そのはずです。人と人の間と書いて、〈にんげん〉なんですから。
コロナに気をつけながら、人間であり続けるには、どうすれば？
その答えのひとつが『演劇』です。
人が人と関わる時、どんな熱が生まれ、光が生まれるのか、
それを体験できるのが『演劇』です。
観るだけでも、やったらもっと何倍も……だから、
お誘います、〈劇団わが町〉に、
今「人間」であり続けるために！

劇団わが町芸術監督
ふじたあさや

川崎市アートセンターアルテリオ小劇場でおこなう2022年
12月公演『わが町しんゆり2022(仮)』(原作ソーントン・
ワイルダー)や、さらにその先を見据えた活動を行います。舞
台が好きの方はもちろん、未経験でも大丈夫。地域の新しい仲
間との作品創りの楽しさや演劇に触れる充実感を共有しません
か？

市民劇団・劇団わが町

劇団員オーディションを開催します

新百合ヶ丘発！

オーディションについて

- 日程 2022年5月5日(木祝)、14日(土)の日中(10:00~18:00)いずれか1日
- 会場 川崎市アートセンターアルテリオ小劇場(小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩3分)
- 応募条件 ・2022年12月公演の本番、その先の活動に参加できる方
・新百合ヶ丘周辺での稽古に通える方(基本は週末1~2日、公演が近づくにつれ週3~5日、時間は週末は午後中心、平日は夜間が中心)
・年齢制限なし、出欠は応相談
- オーディション内容 「身体を動かす」、「台詞を読む」、「面談」

わが町しんゆり 2022(仮) 公演スケジュール

- 日程 事前ワークショップ:6月下旬~7月上旬に2-3回実施
稽古:8月中旬開始/本番:12月2日(金)~4日(日)予定
- 会場 川崎市アートセンターアルテリオ小劇場

【応募される方へお願い】

- ・劇団わが町は単発の企画ではなく、長期的な活動をしています。
ワークショップや稽古を重ね、上記の公演やさらにその先に続きます。ご理解の上、ご応募ください。
- ・このオーディションは出演者オーディションではありません。
出演、スタッフワークなどあらゆる方法で舞台創りにご参加いただけます。
- ・劇団わが町への参加費はかかりません。

お問い合わせ 川崎市アートセンター ☎ 044-955-0107 (9:00~19:30) <http://kawasaki-ac.jp/th/>

主催:川崎市アートセンター/後援:NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり
企画・制作:川崎市アートセンター/NPO法人KAWASAKI アーツ
麻生区制40周年記念事業



NPO 特定非営利活動法人
KAWASAKI アーツ



オーディション応募用紙

応募希望の方は、下記必要事項をご記入の上、
郵送または FAX にてご応募ください。

応募先 宛名：川崎市アートセンター 劇団わが町オーディション係
〒215-0004 川崎市麻生区万福寺 6-7-1 / FAX:044-959-2200

| | | | | | | |
|--------------------------|-----------|--------|--------------|-------|----------------------------|--|
| 希望日 (※1) | 2022年5月 | 5日(木祝) | 14日(土) | どちらでも | 締切：2022年4月22日(金) 必着 | |
| フリガナ 氏名 | 男・女 | | 年齢 (※2) | 職業 | | |
| 住所 〒 | TEL / FAX | | | | | |
| Mail | | | | | | |
| 劇団わが町の公演をご覧になったことはありますか？ | | | ある・ない / 作品名： | | | |
| 趣味・特技 | | | | | | |
| 舞台経験 ※学校や習い事の発表会等も含む | | | | | | |
| 応募動機 | | | | | | |

応募締切後オーディション当日のご案内をお送りします。締切後1週間経っても連絡がない場合はお問い合わせ下さい。

(※1) 希望日に○を付けてください。なお、応募数によってはオーディション希望日に添えない場合があります。

(※2) 未成年者が応募する場合、保護者の氏名および連絡先もご記入下さい。

しんゆりシアター

アルテリオ小劇場の主催事業を<しんゆりシアター>と名付けました。<しんゆりシアター>は地域劇場＝リージョナルシアターを目指します。リージョナルシアターとは劇場が公共性をもって、プロの俳優・スタッフを集め、舞台芸術作品の創造発信を行うことをいいます。劇場の評価をするのは地域住民の方々です。2022年、川崎市アートセンターは開館15周年を迎えます。私たちは引き続き地域の芸術文化発信拠点を目指します。

劇団わが町

Twitter  @_ourtown_ Instagram  wagamachi

2012年に生まれたゆるやかな劇団です。2021年には劇団員は約50名、年齢制限はなく、10-81歳までのメンバーが所属していました。劇団を率いるのは劇団わが町芸術監督ふじたあさや氏。しんゆりシアターのラインナップの一翼を担い、長期的に様々な創造活動を行っていきます。

<劇団わが町の主な公演>

『わが町しんゆり』(2013年6月ほか)、『夢見る人』(2014年3月)、『ザ・チェーホフ』(2015年3月)、『わが町-溝の口』(2016年3月)『恐れを知らぬ27人の劇作家?と49人の俳優たち』(2017年3月)、『クリスマス・キャロル』(2017年12月)、『みずゞ凜々』(2019年2月)、『題未定』(2020年2月)、『グスコブドリの伝記』(2021年2月)、『とんでもない大晦日～しんゆりクリスマス・キャロル～』(2021年12月)



ふじたあさやプロフィール

東京生まれの疎開世代。早稲田大学演劇専修在学中に福田善之と『富士山麓』を合作。放送作家を経て劇団三十人会を皮切りに劇作家・演出家として活躍。日本演出家協会理事長をはじめ、芸団協・日本劇団協議会・日本劇作家協会・児童演協など演劇関係団体の役員、昭和音楽大学特任教授を歴任。アシテジ(国際児童青少年演劇協会)名誉会員。NPO法人 KAWASAKI アーツ理事長。平成18年度川崎市文化賞受賞。川崎市麻生区在住。

[主な作品]【戯曲】『日本の教育1960』『ヒロシマについての涙について』(以上三十人会)、『さんしょう大夫』(前進座・斎田戯曲賞受賞)、『サンダカン八番娼館』(文化座)、『しのだづま考』(京楽座・芸術祭大賞受賞)、『ベッカニコおに』(劇団えるむ)、『ミュージカル・ねこはしる』『ミュージカル・ミラクル』(昭和音楽大学)、『臨界幻想2011』(青年劇場)『ミュージカル・のっぽの古時計』(川崎市アートセンター) / 【演出】『うたよみざる』(歌座)『女殺油地獄』(人形劇団クラルテ・芸術祭大賞受賞)